



はじめに

耳鼻咽喉科が扱う疾患は中耳炎や副鼻腔炎、アレルギー性鼻炎、扁桃炎などの一般的なみみ・はな・のどの疾患を中心として、その他唾液腺疾患、頭頸部癌(口腔癌、鼻腔癌、咽頭癌、喉頭癌など)、音声障害(声帯ポリープや声帯麻痺など)、嚥下障害など多岐にわたっています。鼻出血やめまい、急性喉頭蓋炎、異物誤飲など救急疾患もあり、生まれたばかりの赤ちゃんから高齢の方まで幅広い患者層であることも耳鼻科の特徴と言えます。

当院では外来診療や処置だけでなく、入院加療・手術も行なっています。

「耳鼻科」というと開業医の先生を想像されることが多いのですが、総合病院の耳鼻科は外科医としての側面も大きいと思います。



写真左より 梶原壮平、医長 赤木祐介、佐藤 晶

当院耳鼻咽喉科の特徴

常駐スタッフは4名(うち1名は育休中)、平均年齢は岡山市内の病院の耳鼻科の中でも最も若く、フレッシュなメンバーで頑張っています!

赤木医長は東京ボイスセンターで研修をしており、音声治療にも力を入れています。また、佐藤医師は今春がん治療認定医を取得し、他職種と連携して癌治療の向上に努めています。

月・水・金の一般外来に加えて、形成外科、歯科、言語聴覚士と連携しての口唇口蓋裂専門外来や認定補聴器技能者を迎えての補聴器外来も行なっています。

先述のように耳鼻科の疾患は多岐にわたり、QOLに関わる疾患だけでなく生命に直結した疾患もあります。少ないスタッフではありますが、なるべく苦手分野を持たないよう診療をおこなうことを目標としています。

手術実績 2018年度主要手術件数

年間手術件数597件(同時に両側したものは1件とし、別の手術はそれぞれカウントする)

年間手術患者数460人(1人に対して別の日に手術を行った場合は2人とカウントする)

	手術名	件数
1	口蓋扁桃手術(摘出)	157
2	アデノイド切除術	71
3	内視鏡下鼻内副鼻腔手術	61
4	鼓膜(排液、換気)チューブ挿入術	45
5	喉頭微細手術	28
6	鼻中隔矯正術	25
7	粘膜下鼻甲介骨切除術	20
8	耳下腺腫瘍摘出術	14
9	喉頭形成手術	9
10	鼓室形成手術	6

(リンパ節摘出術、鼓膜切開術、鼻腔粘膜焼灼術、扁桃周囲膿瘍切開術、気管切開術は除く)



外来日 *火曜日、木曜日は手術日

月曜日: 赤木、梶原 第1, 3, 5週のみ 午後補聴器外来(完全予約制)

水曜日: 赤木、佐藤 第3週のみ 口唇口蓋裂専門外来(完全予約制)

金曜日: 佐藤、梶原

※予約患者さんや緊急処置などを優先しております。初診や予約外の患者さんは11時までの受付ですが、お待たせすることがありますのであらかじめご了承ください。



口唇口蓋裂専門外来メンバー(耳鼻咽喉科、形成外科、歯科、言語聴覚士、看護師)



音声障害、嚥下障害のリハビリは言語聴覚士(ST)と協力して行なっています。

写真下段左より 阿部先生、足立先生

スタッフ紹介

赤木 祐介(あかぎ ゆうすけ)

平成18年卒

日本耳鼻咽喉科学会専門医、指導専門医

日本耳鼻咽喉科学会補聴器相談医

難病指定医

国際医療福祉大学 東京ボイスセンター研修



佐藤 晶(さとう あき)

平成22年卒

日本耳鼻咽喉科学会専門医

日本がん治療認定医機構がん治療認定医



茂原 暁子(しげはら あきこ)

平成23年卒 現在育休中

日本耳鼻咽喉科学会専門医



梶原 壮平(かじはら そうへい)

平成27年卒

耳鼻咽喉科専攻医



おわりに

耳鼻咽喉科医は「食べる」・「しゃべる」・「聞く」・「嗅ぐ」・「味わう」といった人間にとって非常に重要な感覚器を扱っているにも関わらず、いまだにマイナー科として全体の医師数のほんの数%しかいないのが現状です。高齢化が進む中で耳鼻科医へのニーズはさらに高まっています。専門医制度が変わりつつある中で、臨床研修医など若手医師への

教育も重要な使命と考え、教育、臨床にさらに力をいれていきたいと思います。

みみ・はな・のどの症状でお困りの患者さん、地域の先生方の相談に可能な限りお応えするとともに、若手医師の皆さんにも是非当院で研修をしていただければと思います。